

寒く乾燥する冬は感染性の胃腸炎が活発になる季節です。
十分に予防対策をして元気に過ごしましょう！

急性胃腸炎・嘔吐下痢症

症状:突然の嘔吐・下痢

☆細菌性⇒嘔吐・下痢の症状

(重症化すると血液が混入し膿性の下痢便や発熱、腹痛が現れる)

★ウイルス性⇒水様性の下痢便

原因:微生物(ウイルス・細菌・原虫)や食品などからの感染

ペットの排せつ物や化学物質、アレルギーが原因の場合もある

経路が明らかな場合と不明な場合もある

★ノロウイルス

症状:激しい下痢・嘔吐・腹痛

38℃以上の発熱も出ることもある

原因:牡蠣やアサリなどの二枚貝に蓄積されたウイルスが原因だが、

感染ルートは感染者の嘔吐物・排泄物からが多い・・・

特に冬の二枚貝は生で食べずに、よく加熱調理してから食べましょう

★ロタウイルス

主に乳幼児(6ヶ月~2歳)の感染が多いですが、高齢者の方も要注意です！

症状:米のとぎ汁のような白色の下痢便

嘔吐・発熱

原因:汚染された水や食品、物の表面(ドアノブや手すりなど)を

触った手などから口に入り感染する【経口感染】

上手な手の洗い方



① 手を水にぬらす



② 石鹸をしっかりと泡立てる



③ 手のひら、甲を洗う



④ 指と指の間を洗う



⑤ 親指を反対の手で
つつんで洗う



⑥ よくこすって爪
の間を洗う



⑦ 手首を洗う



⑧ 石鹸を洗い流す

予防には【手洗い】【うがい】【マスク】【手袋】が大切